

グローバル宣言

福島原発の汚染水放出：人類に対する罪

私たち世界市民は、全人類とその将来の世代の福祉のために団結し、連帯して、東京電力福島第一原子力発電所からの放射能汚染水の放出を非難し抗議するために、2023年3月18日、フィリピンのマニラに集まりました。

トリチウム、炭素 14、ストロンチウム 90、コバルト 60、ヨウ素 129、ルテリウム 106、セシウム 137 など、すべての有機生命体に害を及ぼす放射性核種によって世界の海や食物連鎖が汚染されないように、この汚染水の放出を許してはならない。また、毎日 100 トン以上の汚染水が蓄積され、これを初期に止めなければ、その後放出され続けることとなります。

汚染水の排出は、人権と国際海洋法を無視した決定であり、最も人口の多い国から最も小さな太平洋諸島まで、世界中の人々や国がこの有毒な汚染水を海に放出することに反対しています。

私たちは今日、この共同声明に署名するために集まり、この共同声明を他の国のカウンターパートに広めて、共通のアクションを起こす。

署名者：

Herman Laurel

President, Asian Century Philippines Strategic Studies Institute

Veronica 'Derek' Cabe

Nuclear/Coal-Free Bataan Movement

Ka RJ Javellana

President, WARM UFCC United Filipino Consumers and Commuters

Prof. Anna Malindog-Uy

Vice President for External Affairs, Asian Century Philippines Strategic Studies

Wilson Lee Flores
Moderator, Pandesal Forum

Corazon Valdez Fabeos
Co-President, International Peace Bureau

Jessica Dizon
Founding Member, YOUNGBEAN

Prof. Nestor Cuartero
University of Santo Tomas